事業番号	185

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	《交通安全施設整備事業》							担当部	都市建設部	
	会計区分	一般会計			事業類型	実施計画事業			担当課	道路課	
	事業期間	平成12年度以前		～		平成31年度以降			担当係	道路係	
	総合計画分野別計画 主目的	6 都市基盤		23 道路			2 交通安全施設を整備します				
	総合計画分野別計画 副目的									実施計画対象	○
	予算区分	款	8	項	2	目	7	大	3	中	
	根拠法令・個別計画	道路法									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	交通弱者である歩行者や自転車の安全性を確保する。									
	内容（手段）	◆26年度実施内容 ・歩道や自転車歩行者道の整備。 ・交差点を改良することにより、右折帯設置、歩車道分離及び交通安全施設の整備。 ・工事の設計、積算及び施工管理、用地買収に関する事務。 ◆26年度直接経費の内訳 【委託業務内容】 設計、測量、物件調査等の委託 （委託料:3,748千円） 【工事の内容】 多気北町8号線歩道設置事業 間々本町17号線歩道設置事業 小針巳新田小木線歩道設置事業 その他の交通安全施設整備事業 （工事請負費:115,734千円） 【用地買収】 （用地購入費:0円）（物件補償費:0円） ◆27年度直接経費の内訳 【委託業務内容】 設計、測量、物件調査等の委託 （委託料:22,000千円） 【工事の内容】 野口大草線歩道設置事業 小針巳新田小木線歩道設置事業 その他の交通安全施設整備事業 （工事請負費:76,500千円） 【用地買収】 常普請三ツ渕線歩道設置事業 下小針中島二丁目藤島町向江線交差点改良事業 （用地購入費:46,000千円）（物件補償費:24,500千円）									
	受益者負担	無									

				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
コスト	費用	直接経費		千円	243,021	119,468	119,482	169,000
		正職員	従事者数	人	1.20	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	6,312	5,260	5,260	5,260
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	249,333	124,728	124,742	174,260
		対前年比		%		50.0	100.0	139.6
	財源	一般財源		千円	249,333	124,728	124,742	174,260
		国・県支出金		千円	0	0	0	0
		その他財源		千円	0	0	0	0

事業番号	185

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
整備延長	m	目標	1,070	820	900	600
		実績	1,430	532	1,164	
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
年間交通事故発生件数（人身事故）	件	目標	―	―	―	―
		実績	1,125	1,104	1,006	
		目標				
		実績				

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	歩車道の分離がされてない主要な通学路等について、地元要望等に基づき順次歩道整備を実施しており、わずかではあるが年間交通事故発生件数を減少することができた。
	事業実施における課題	事業実施においては用地買収、境界立会等が必要となるが、その際に相手方の事業理解を得ることが困難な場合に事業実施の遅れが懸念される。
	事業を縮小・廃止したときの影響	市民が安全で快適な交通環境の形成を図るための手段として、当該事業を実施しているため、廃止すれば交通弱者である歩行者や自転車の安全性確保が図れなくなる。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	用地買収の協力、また事業理解を示されない関係者に、理解が得られるよう十分な説明を行う。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	地元要望(区長申請等)に順次対応していること、また交通弱者である歩行者や自転車の安全性確保が図られていることから現状維持と判断した。
	28年度以降の改善案	地元区との調整を密に図ることで、事業を円滑に遂行する。また、小牧警察より資料提供を受け、事故発生箇所及び原因を検証する事でより一層の安全に配慮した設計・施工を行う。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。